

ART

Museum
and
Theatre
Information

2014.1-3

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

アート・ニュース・トーキョー

TOKYO

東京⇄江戸 今昔ストーリー

落語家 林家たい平

A Story of Today and the Past
Taihei Hayashiya, Rakugo story teller

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site



トーキョー・アート・
ナビゲーション携帯サイト
tokyoartnavi.jp

ART

Museum
and
Theatre
Information

2014.1-3

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

アート・ニュース・トーキョー

TOKYO



東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

東京都美術館にて。落語家、林家たい平さん

The Rakugo story teller Taihei Hayashiya, at the Tokyo Metropolitan Art Museum



東京江
今昔ストーリー
落語家
林家たい平

A Story of Today
and the Past
Taihei Hayashiya,
Rakugo story teller

Taihei Hayashiya

「笑点」(日本テレビ系列)などのテレビ番組をはじめ、ラジオ番組や全国での落語会など、多方面で活躍する林家たい平さん。近年は、子どもたちへの落語普及にも熱心に取り組んでいます。東京都美術館は、高校生の頃からなじみの深い場所とのこと。展示を覗いていただきながら、落語やアートにまつわるさまざまなお話をうかがいました。

撮影協力：東京都美術館
Photo：Koji Honda (cover and p.2-3)

思いがけない、 さまざまな表現との出会いがある場所

The place where one can encounter
a variety of unexpected expressions

江戸時代の人びとをひととき現世に蘇らせ、お客様を東京から江戸の世界へといざなう。これが自然にできるようになりたいと、いつも思っています。

まくらから始まる^{はなし}のなかで、気がついたらいつのまにか、落語の国にいざなわれていたというのがいいですね。落語を聴きにきたお客様が「今、落語の世界に入ったんだな」

現代の東京から、 江戸の昔へといざなうテクニク

とわかって、スーッと^{はなし}に入っていく瞬間がたまらないです。高座には着物姿の男性(または女性)が一人、座布団に座っているだけ。なのに、そこにはいなせな職人やそのおかみさん、いかめしいお侍やあどけない男の子などが、次々と、そして鮮やかに現れてきます。声色などをあまりガラリと変えるのは野暮とされており、最小限の仕草、声のトーンや張り方などの少しいずれ、各人物の特徴となるエキスの部分を抽出するのが、落語という表現です。

すぐれた表現のためには、声や仕草の技だけでなく、その演目を細



東京都美術館は公募展の開催場所として有名。第81回版画展を観る
撮影協力：日本版画協会

親も同然」という、単なる賃貸関係以上の間柄。そして武士と町人は、身分制度に基づく各々の立場をわきまえた関係……。話の根底に流れるこういった事柄までを、落語家はしっかりと学んでお腹に入れ、自分ならではの「形」にしています。300年を超え

る歴史で築かれてきた人間観察の集大成であり、緻密でどこかリアリティーをともなった芸。それが、落語なのだと思います。武蔵野美術大学への入学当初から、誘われるまま落語研究会に籍を置いていたものの、それほど興味は持てずにいました。ところが大学3年のある夜、課題の絵を描きながらつけていたラジオから、五代目柳家小さん

師匠の「粗忽長屋」が聴こえてきたのです。一人のおじさんが話しているだけなのに、登場人物たちの顔やしぐさ、景色やおいまでが伝わってきました。思い切り笑えたり、笑った後になんとも暖かい気持ちになれた。それが、落語と真剣に向き合った初めての体験でした。あのときラジオをつけていなければ、まったく違う道を進んでいたかもしれません。

若い世代はもちろん、落語を一度も聴かずにきたご年配の方々にも落語に出会ってもらいたくて、全国を飛び回っています。落語とは不思議なもので、笑って聴いているうちに自然に想像力が生まれ、また、その想像力を働かせるほど面白くなります。そして演目自体にも、ユーモアのなかに現実の困難を切り抜けるヒントが隠されているものが多いのです。辛いことがあったとき、それを少しでも軽くする方法は人によって色々ですが、そこに落語という引き出しを一つ持つことができれば、人生は確実に豊かなもの



館内の講堂にて。東京都美術館80周年記念イベントでは、林家たい平さんもこの場所で講演を行っている

になるのではないのでしょうか。特に頭が柔軟な子どもたちには、できるだけ早いうちから落語の楽しさを知ってほしい。僕自身の出会いが遅かったの

Artistic spots recommended by Taihei Hayashiya

林家たい平さんのおすすめアートスポット

出演や授業のため都内を移動するあいまに、写真撮影やアート鑑賞を楽しんでいるたい平さんに、特に気に入りの場所を4つ教えていただきました。

Taihei enjoys taking photos and appreciating art when he has time to spare from traveling throughout Tokyo for work. He was asked to mention four of his particularly favorite places.

で、なおさらそう思います。初めて聴く落語が僕の高原で、それが面白くなければその方は二度と聴いてくれないかもしれないという、責任の重さも感じています。

美術大学を目指していた高校生の頃、秩父から目白の美術予備校に毎週通っていました。その先生に「いい作品をたくさん観なさい」と教えられたこともあり、授業が終わると、都内のどこかしらで開催されている展覧会を必ず観てから帰っていました。東京都美術館は、その頃から最も多く訪れているところです。なんといっても素晴らしいのは、企画展のほかに、絵画や版画などの公募展が常に複数開催されていて、無料で観覧できるものも多いこと。さまざまな表現との思いがけない出会いは、高校生にはと

落語とアート、遠いようで近い 両者を結びつけるもの

でも大きな刺激となりました。特に書の展覧会には、それまで学校の授業を含めて書道にはいい思い出がなかったのですが、書とはこんなにも自由で多彩な表現がある世界なんだと、驚かされたものです。

林家こん平に弟子入りしてからは、大師匠である初代林家三平の家に住み込む形で修行が始まったのですが、上野の鈴木演芸場と三平の家をつないだ真ん中に東京都美術館があったため、「今日は2時間空くな」というときに、やはり折りにふれ立ち寄っていました。今でも鈴木に出番があるときは、よくお邪魔しています。時間があれば1日いても飽きませんし、すぐそこに国立

西洋美術館や東京藝術大学、同大学美術館もあります。東京都美術館を含む上野公園全体が、僕にとっては全てのアートの源泉が吸収できるかのように感じられる、特別な空間です。

落語家になった今でも写真は撮り続けていますし、イラストやデザインの仕事も積極的にしています。それは、美大で学んだことも無駄にせず、落語と一緒に「色揚げ」していきたいという思いから。「色揚げ」とは、布をより鮮やかな色に染めなおして美しくすることです。ミケランジェロやレンブラントの普遍的な美に改めて触れたり、最新の現代美術の世界を知

たりすることによって、自分のなかのアートの色を揚げてみる。すると不思議なことに、落語の色も揚がっていくのです。アートも落語も、古典がある一方で、絶えまない進化を続けている分野です。アートで学んだことは落語に生きるし、落語で得たものはイラストや写真の表現に繋がるはず。両方の世界を深めていけるよう、これからも日々精進していきたいと思っています。

I always hope to perform a rakugo story naturally, to let the audience enter the world of Edo from Tokyo by bringing characters of the story in the Edo Period to this modern world.

The essence of peculiarity of each character is embodied by minimum actions and subtly different voice tones. Rakugo is a summarization of human



林家たい平独演会より

watching that has been established through a history of over 300 years. In other words, rakugo is sophisticated and realistic art.

I'm traveling from place to place throughout

Japan, hoping to provide opportunities to encounter real rakugo for young people as well as elderly persons who have never listened to live rakugo before.

During my high-school student days when I was aiming to enroll at an art college, I commuted weekly from Chichibu to a cram school for art in Mejiro. One teacher in the school advised us to appreciate as many good artworks as possible. So I always stopped at any exhibition held somewhere in Tokyo before going home.

Since then on, the Tokyo Metropolitan Art Museum is the place I have visited most frequently. The encounter with a variety of unexpected expressions gave a strong impact on me as a high school student. I frequent the Tokyo Metropolitan Art Museum today too. Ueno Park, where the museum is located, is a special place for me as a whole because I feel that I'm able to absorb a lot of art there.

I believe what I have learnt through art can be applied to rakugo, and what I have obtained from rakugo must be expressed in illustrations and photographs. I will make further efforts to enlarge both worlds.

林家たい平 Taihei Hayashiya
落語家。1964年生まれ、埼玉県秩父市出身。1987年武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。1988年林家こん平に入門、1992年二ツ目、2000年真打昇進。2008年芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。2月8日、東京都江戸東京博物館にて「林家たい平独演会×大浮世絵展」を開催。Rakugo story teller. Born in Chichibu, Saitama, in 1964. February 8, he will host "Taihei Hayashiya one-man show x Ukiyo-e exhibition" to be held in the Edo-Tokyo Museum.



1 東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum

1926年開館、1975年に前川國男設計の新館竣工。広い展示空間は、企画展のほかにさまざまな公募展が開催されている。2012年に大規模改修が完了、設備が一新した。1月4日(土)～16日(木)、「TOKYO 書 2014 公募団体の今」を開催。Opened in 1926. The new building designed by Kunio Mayekawa was completed in 1975. In a spacious exhibition area, a variety of open call exhibitions as well as special exhibitions are held. Its large scale renovation was completed in 2012 with its facilities renewed.



3 江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

昔の住空間や日本の建築技術への洞察も、落語の話芸には欠かせない。1993年開館、江戸時代から昭和初期にかけて建てられた建物を移築・保存している野外博物館。An open-air museum with the aim of relocating and preserving historical buildings constructed from the Edo Period to the early Showa Era.

2 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography

デジタルカメラのほかフィルムカメラの撮影にもこだわるたい平さんが、さまざまな写真表現に刺激を受けている、写真と映像専門の美術館。1995年開館、国内外の作品約29,000点を収蔵。

The museum specializes in photographs and videos, and was opened in 1995. About 29,000 works from inside and outside of Japan are housed.



4 玉川上水 Tamagawa Aqueduct

1653年、多摩川の水を江戸市中に引くため羽村町から新宿区四谷まで作られた約43kmの上水道。2003年国の史跡に指定。教鞭を執る武蔵野美術大学のそばを流れており、学生時代は下宿への帰り道だった。都内では数少ない「闇」が残る場所という。



The aqueduct stretching over a distance of about 43 kilometers between Hamura and Yotsuya in Shinjuku-ku, built in 1653 for the purpose of drawing water from the Tama River into the city of Edo.
Photo : Shino Chikura



荻川師宣《見返り美人図》肉筆画 元禄～宝暦期（17世紀後半～18世紀前半）
東京国立博物館蔵（1月28日～2月16日展示）
Moronobu Hishikawa, *Woman looking back*,
Edo Genroku – Horeki Period (late 17 - early 18th century),
Tokyo National Museum (on exhibit from 1.28-2.16).

国際浮世絵学会創立50周年記念 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 大浮世絵展

1月2日(木)～3月2日(日)

50th anniversary exhibition of the foundation of International Ukiyo-e Society
20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum,
Ukiyo-e: A Journey Through the Floating World.

Jan 2 Thu – Mar 2 Sun

浮世絵研究の成果を世界に発信している「国際浮世絵学会」の創立50周年を記念して、写楽、北斎、広重らの代表作品をはじめとした浮世絵の名品を、国内、そして世界各地から一堂に集める展覧会を開催します。浮世絵の全史を通覧する作品約340点。大首絵、役者絵、上方絵、風景画など、浮世絵がまるごとわかる「教科書」のような展覧会です。

The masterpieces of Ukiyo-e, including representative pieces by Sharaku, Hokusai and Hiroshige, will be collected from Japan and all across the world for exhibition to commemorate the 50th anniversary of the foundation of International Ukiyo-e Society, which transmits the results of research on Ukiyo-e to the world. Around 340 of works on exhibit will cover entire history of Ukiyo-e. The exhibition is somewhat like a school textbook that introduces Okubi-e, Yakusha-e, Kamigata-e and landscapes.

入場料: 一般 1,300 (1,040)円、大学生・専門学校生 1,040 (830)円、小学生・中学生・高校生 65歳以上 650 (520)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児童は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場: 東京都江戸東京博物館 1階展示室

休館: 月曜日(祝日の場合は翌日。ただし1月14日(火)・20日(月)は開館)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、国際浮世絵学会、読売新聞社

Admission: Adults: ¥1,300 / College and vocational students: ¥1,040 / Elementary school students, junior high school students, high school students, and seniors (65 and over) : ¥650

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day, but open on Jan 14 and 20)



重要文化財

東洲斎写楽《三代目大谷鬼次の江戸兵衛》大判錦絵
天明～寛政文化期（18世紀末～19世紀初）
東京国立博物館蔵（1月15日～26日展示）

Important Cultural Property
Sharaku Toshusai, *Actor Otani Oniji 3rd as the yakko Edobei*,
Edo Tenmei – Kansei Bunka Period (late 18 - early 19th century), Tokyo National Museum (on exhibit from 1.15-26).
Image: TNM Image Archives



歌川国政《市川鯨蔵の暫》大判錦絵

天明～寛政文化期（18世紀末～19世紀初）

東京国立博物館蔵（2月4日～16日展示）
Kunimasa Utagawa, *Actor Ichikawa Ebizo in Shibaraku*,
Edo Tenmei – Kansei Bunka Period (late 18 - early 19th century), Tokyo National Museum (on exhibit from 2.4-16).
Image: TNM Image Archives

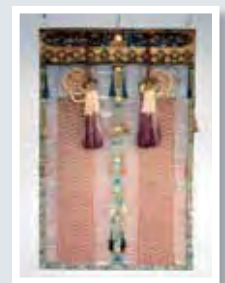
CLOSE UP!

この展覧会に注目!

「江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 大江戸と洛中～アジアのなかの都市景観～」(3月18日～5月11日)では、江戸や京都の都市設計を、アジアという広い視点で見つめ、江戸時代の都市の姿を考えます。

20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Edo and Kyo ~ The townscape in Asia ~ (March 18-May 11) will focus on town planning in Edo and Kyoto, viewed from a wide Asian perspective, to consider the status of towns during the Edo Period.

紅葉山東照宮御簾 津山郷土博物館蔵
A special window blind at Momijiyama Toshogu, Historical Museum Of Tsuyama Region





開園 20周年記念特別展

憧れのモダン住宅—建築家土浦亀城と信子夫妻の提案

3月15日(土)～5月18日(日)

20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum,
Modern Housing that people yearn for — A proposal from the architect Kameki Tsuchiura and his wife Nobuko
Mar 15 Sat – May 18 Sun

土浦亀城は1897(明治30)年に生まれ、東京帝国大学建築学科に入學。大学時代にフランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテルの建設に関わりました。政治学者吉野作造の長女として生まれた信子とは学生結婚でした。亀城は大学を卒業後、信子とともにアメリカに渡り、ライトの事務所にて修行。帰国後は多くの建物を設計しました。この展覧会では、東京都指定有形文化財である「土浦亀城邸」、建築家土浦亀城と信子夫妻について、所蔵資料を中心に紹介します。

Kameki Tsuchiura was born in 1897, and studied at the Department of Architecture at the Tokyo Imperial University. During his college years, he was involved in the construction of the Imperial Hotel that was designed by Frank Lloyd Wright. He married Nobuko Yoshino, the eldest daughter of Sakuzo Yoshino, political scientist, around the same time. After his graduation, the couple moved to America, and Kameki studied under Wright at his office. After returning home, he designed a number of buildings. At this exhibition, "the Residence of Kameki Tsuchiura," designated one of Tokyo's tangible cultural properties, Tsuchiura the architect, and his wife Nobuko will be profiled, mainly through the museum's archival collections.

入場料:一般 400(320)円、大学生 320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上 200(160)円、小学生以下・中学生(都内) 無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:江戸東京たてもの園 展示室

休園:4月14日(月)・21日(月)、5月7日(水)・12日(月)

主催:東京都、江戸東京たてもの園

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, and junior high school students living in Tokyo: Free

Closed: Apr 14 Mon · 21 Mon, May 7 Wed · 12 Mon



土浦亀城邸居間
Living room in Kameki Tsuchiura House



土浦亀城邸居間(スケッチ)
Living room in Kameki Tsuchiura House (Sketch)



土浦亀城邸台所写真
Kitchen in Kameki Tsuchiura House



土浦亀城邸立面図
Evaluation view of Kameki Tsuchiura House

CLOSE UP!

このイベントに注目!

3月27日(木)から30日(日)に、開園20周年・30棟復元完成記念「江戸東京たてもの園フェスティバル」を開催いたします。皆様楽しんでいただけるイベントを企画しています。開園記念日の3月28日(金)は入園が無料となります。

From March 27 (Thu) through 30 (Sun) the museum will hold its 20th anniversary to commemorate the completion of 30 reconstructed buildings, at the "Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Festival." The museum will hold various events that all visitors can enjoy. Admission is free on March 28 (Fri), the anniversary of the opening day.



昨年度のフェスティバルの様子
A scene from Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Festival 2012

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



東京都写真美術館



穂苅三寿雄《雲晴れる槍ヶ岳》昭和初期 穂苅貞雄氏蔵
Misuo Hokari, *Clear off, Mount Yari*, Early Showa Era, Courtesy of Sadao Hokari

黒部と槍 冠松次郎と穂苅三寿雄

3月4日(火)～5月6日(火・休)

Valleys and Peaks: Kanmuri Matsujiro and Hokari Misuo

Mar 4 Tue – May 6 Tue, holiday

日本を代表する登山家であり、黒部峡谷の地域探査、山岳紀行文でも知られる冠松次郎と、北アルプスにおいて最初期に山小屋経営を行い、山岳写真や槍ヶ岳を開山した播隆上人の研究でも知られる穂苅三寿雄を紹介する展覧会。現存するオリジナルプリントや愛用の登山道具、多彩な資料で、初期日本山岳写真史に名を刻む冠と穂苅の偉業を検証します。

Matujiro Kanmuri was a mountain climber who represented Japan. He was also known for regional research on the Kurobe Valley and his mountain travelogues. Misuo Hokari was a pioneer for operating a mountain lodge in Japan's North Alps. He is also known as a photographer and for his research of the priest Banryu who was the first person to reach the summit of Mount Yari. This exhibition will focus on the achievements of the two, who made an imprint in Japan's earlier history of mountain photography. Their original prints, beloved mountain gear and various documents will be reviewed.

入場料：一般 700(560)円、学生600(480)円、
中高生・65歳以上 500(400)円。()内は20名
以上の団体料金及び東京都写真美術館友
の会会員。小学生以下及び障害者手帳をお
持ちの方とその介護者は無料。

会場：東京都写真美術館 2階展示室

休館：月曜日(ただし4月28日、5月5日は開館)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京
東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連絡
協議会Admission: Adults: ¥700 / College students: ¥600 /
Junior high and high school students, and seniors
(65 and over): ¥500

Closed: Mon (open on Apr 28, May 5)

第6回恵比寿映像祭

トゥルー・カラース

2月7日(金)～23日(日)

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2014

TRUE COLORS

Feb 7 Fri – 23 Sun

年に一度、展示、上映、ライブ・パフォーマンス、関連イベントなどを複合的に行う映像とアートの国際フェスティバル、恵比寿映像祭。第6回目となる今回は、「トゥルー・カラース」というテーマのもと、映像が映し出す現代社会の多様性を見つめます。世界がグローバリゼーションの一途をたどるなかで見失われていったもの、その波に呑み込まれることなく守られてきたもの、またグローバリゼーションが生み出したものや、それらが示唆する未来の可能性について考えます。

The Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions is an annual event that comprehensively presents exhibitions, film screenings, live performances and related events. As the sixth event this year, it will view the diversity of today's world through visual images under the event's theme of "True Colors." The event will consider items that have vanished through globalization, items still retained, refusing to be washed away by the wave of time, items produced by globalization, and the possibilities of the future.

入場料：入場無料(上映、ライブ、レクチャーなど、定員制のものは一部有料)

会場：東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場、ザ・ガーデンルーム、恵
比寿近隣文化施設及びギャラリーほか

休館：2月10日(月)・17日(月)

主催：東京都、東京都写真美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴
史文化財団)、日本経済新聞社Admission: Free (Admission will be charged for some events with limited seating, including screenings,
live performances, and lectures.)

Closed: Feb 10 Mon, 17 Mon



キムスージャ《針の女》1999-2001年
協力:キムスージャ・スタジオ
Kimssooja, *A Needle Woman*, 1999-2001
Courtesy of Kimssooja Studio



王兵《収容病棟》2013年
Wang Bing, *Til Madness Do Us Part*, 2013
© Wang Bing and Y. Production

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

日本の初期写真史において最も重要な写真師のひとりである下岡蓮杖の回顧展「下岡蓮杖」(仮称)が3月4日(火)～5月6日(火・休)に開催。蓮杖が制作した写真作品、日本画作品を中心に展覧します。

Renjo Shimooka, one of the most important photographers of Japan's photographic history, will be traced in the exhibition "Shimooka Renjo" (tentative) from March 4 (Tue) to May 6 (Tue/national holiday). Photographs and nihonga paintings that Renjo created will be on exhibit.

下岡蓮杖(梅の枝を活ける女性)
1862-1876年頃 東京都写真美術館蔵
Renjo Shimooka, *Woman arranging plum blossoms*, c. 1862-1876
Courtesy of Tokyo Metropolitan Museum of Photography



東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

MOT+
MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館



高田安親子・政子(切り札) 2011年 撮影:長塚秀人
Akiko and Masako Takada, *Trump Card*, 2011 Photo: Hideto Nagatsuka

MOT アニュアル2014 フラグメント—未完のはじまり

2月15日(土)～5月11日(日)

MOT Annual 2014 Fragments—Incomplete Beginnings

Feb 15 Sat—May 11 Sun

現代という時代を鋭く照らし出す若手作家を紹介するグループ展「MOT アニュアル」。13回目となる今回は、身の周りにある素材や見慣れたイメージの「フラグメント」(部分)を用いることにより、われわれの現実認識に新たな「手がかり」をもたらしてくれる作家・作品を紹介します。青田真也、高田安親子・政子、パラモデル、福田尚代、宮永亮、吉田夏奈が生み出す作品は、広漠たる世界と小さな一個人である自分との間に、ささやかなアクセスポイントを作るきっかけとなることでしょう。

MOT Annual is a group exhibition that introducing younger artists who spotlighting on today. The 13th exhibition will feature artists/works that bring a new “trigger” for us to recognize our reality by using “fragments” of materials and things around us that are familiar.

Works created by Shinya Aota, Akiko and Masako Takada, Paramodel, Naoyo Fukuda, Akira Miyayama, Kana Yoshida will surely become a trigger to create tiny access point between a tiny one self and a large world.

入場料:一般1,000(800)円、大学生・65歳以上 800(640)円、中学生500(400)円、小学生以下 無料()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都現代美術館 企画展示室3階

休館:月曜日(5月5日は開館)、5月7日(水)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

Admission: Adults: ¥1,000 / College students and seniors (65 and over): ¥800 / Junior high and high school students: ¥500

Closed: Mon (Open on May 5), May 7 Wed

「驚くべきリアル」展

スペイン、ラテンアメリカの現代アート—MUSACコレクション—

2月15日(土)～5月11日(日)

The Marvelous Real

-Contemporary Spanish and Latin American Art from MUSAC Collection-

Feb 15 Sat—May 11 Sun

スペインの90年代以降の作品にフォーカスしたカスティージャ・イ・レオン現代美術館(MUSAC)のコレクションから、「驚くべきリアル」をテーマに27作家の作品を紹介。「スペインでは、他のどの国よりも死者が生きて生きている」という、詩人ガルシア・ロルカの言葉のように、スペイン芸術のリアリズムの系譜のなかでは、死は生よりも活気をもって描かれます。この展覧会ではスペイン的なリアルの感覚がどのように変容し、発酵していったかを見ていきます。

“The Marvelous Real” will showcase works by 27 artists from the collection of the Museo de Arte Contemporáneo de Castilla y León (MUSAC), focusing on Spanish art since the 1990s.

As the poet Federico Garcia Lorca said, “In Spain the dead are more alive than the dead of any other country in the world.”; In Spanish realism painting, death is portrayed to be more activated than life. This exhibition will express how the sense of Spanish realism has been transformed and fermented to date.

入場料:一般1,100(880)円、大学生・専門学校生・65歳以上 800(640)円、中学生 600(480)円、小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。MOT アニュアル2014との2展セット券。一般1,600円、大学生・65歳以上1,200円、中学生700円。

会場:東京都現代美術館 企画展示室1階、ホワイエ

休館:月曜日(5月5日は開館)、5月7日(水)

主催:東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、カスティージャ・イ・レオン現代美術館(MUSAC)、Acción Cultural Española (AC/E)

Admission: Adults: ¥1,100 / College and vocational students and seniors (65 and over): ¥800 / Junior high and high school students: ¥600

Closed: Mon (Open on May 5), May 7 Wed



フェルナンド・サンチェス・カスティージョ《馬に捧げる建築》2002年 MUSAC蔵
©Fernando Sánchez Castillo, Courtesy: MUSAC
Fernando Sánchez Castillo, *Arquitectura para el caballo*, 2002 MUSAC Collection,
©Fernando Sánchez Castillo, Courtesy: MUSAC

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

常設展示「MOTコレクション」:第1部 私たちの90年 1923-2013(2月15日～5月11日)では、当館の代表的な収蔵品をもとに、関東大震災から現在にいたる90年のあいだ、作家たちは作品を通してどのように世界と向き合い、切り結んできたのか、その試みを紹介いたします。

Part 1 (first floor) of MOT Collection Gallery is entitled “Our Ninety Years 1923-2013”. Through representative works in the museum’s collection, we look at the creative endeavors of artists in 90 years since the Great Kanto Earthquake and consider the territories they have explored in their works.



岡本信治郎《東方三賢王の礼拝(聖風景シリーズ)》1964年
Shinjiro Okamoto, *Worship of Magi (Holy Landscapes Series)*, 1964



奥村土牛〈閑日〉1974年 東京国立近代美術館蔵（前期）
Togyu Okumura, *A Leisure Day*, 1974, The National Museum of Modern Art, Tokyo (the early part)

日本美術院再興100年 特別展「世紀の日本画」

前期:1月25日(土)~2月25日(火)、後期:3月1日(土)~4月1日(火)

The Centennial Exhibition of the Japan Art Institute's Revival: The Masterpieces of NIHONGA
Jan 25 Sat – Feb 25 Tue, Mar 1 Sat – Apr 1 Tue

平成26年は日本美術院の再興から100年にあたります。これを記念して、前史としての東京美術学校設立から、現在までのおよそ130年の活動を振り返ります。狩野芳崖、横山大観、小林古径、安田靉彦、平山郁夫ほか、近代日本画の巨匠たちの代表作約120点が一堂に会する本展は、まさに近代日本画の精華というにふさわしい内容です。

2014 marks the centennial of the revival of the Japan Art Institute. To commemorate the anniversary, this exhibition will trace the roughly 130 years of activities by the institute, which was originally established as the Tokyo Fine Arts School. Some 120 representative works by Hōgai Kano, Taikan Yokoyama, Kōkei Kobayashi, Yukihiro Yasuda, Ikuro Hirayama and other master painters of modern nihonga will get together at this exhibition to view a great achievement of modern nihonga.

入場料:一般1,400(1,200)円、学生1,200(1,000)円、高校生800(600)円、65歳以上1,000(800)円。()内は20名以上の団体及び前売料金。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。

会場:東京都美術館 企画展示室
休室:月曜日(ただし2月24日、3月31日は開室)、2月26日(水)~28日(金)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、日本美術院、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

Admission: Adults: ¥1,400 / College students: ¥1,200 / High school students: ¥800 / Seniors (65 and over): ¥1,000

Closed: Mon (Open on Feb 24, Mar 31), Feb 26 Wed-28 Fri

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

富士山が世界文化遺産に登録されたことを記念し、館所蔵の安東聖空の《富士》《不二》の2作品を中心とした展覧会「富士をみつめて」(1月4日~16日)を開催します。入場無料。

The "Viewing Fuji" exhibition (Jan 4-16) commemorates Mount Fuji receiving recognition as a UNESCO World Cultural Heritage site, "It will feature two calligraphy by Seiku Ando entitled "Fuji" from the museum collection and other works.

安東聖空〈不二〉
Seiku Ando, *Fuji*



TOKYO 書 2014 公募団体の今

1月4日(土)~1月16日(木)

TOKYO "SHO" 2014: Japanese Calligraphy Today
Jan 4 Sat – 16 Thu

東京を中心に、関東に拠点を置く18の書の公募団体による合同展。各団体から選出された作家による多彩なジャンルの書作品、伝統的な漢字、かな、篆刻はもとより、近代詩文書や前衛にいたる80点余りを一堂に鑑賞できる本展を、どうぞご期待ください。

[参加団体(五十音順)]

奎星会、謙慎書道会、玄潮会、現日会、書海社、書星会、書壇院、書道一元會、書道芸術院、創玄書道会、朝聞書会(2013年9月1日に東京書道会より改称)、貞香会、東洋書芸院、独立書人団、日本刻字協会、日本書作院、日本書道美術院、藍笥会

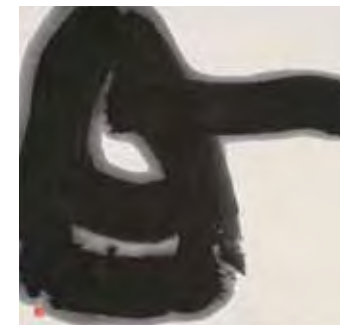
Collaborative exhibition by 18 groups, based in the Kanto region centering in Tokyo that specializes in sho calligraphy. On view will be more than 80 works of various genres in sho calligraphy, traditional Chinese characters, kana, tenkoku carved out characters, as well as modern poetic writing, to avant-garde pieces. This is an exhibition to look forward to.

入場料:一般500(400)円、65歳以上300円。()内は20名以上の団体料金。学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。

会場:東京都美術館 公募展示室 ロビー階第1・第2
休室:1月6日(月)※初日1月4日(土)は13:00より開室

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
協力:産経国際書会、一般財団法人毎日書道会、読売書法会
後援:朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

Admission: Adults: ¥500 / Seniors (65 and over): ¥300 Closed: Jan 6 Mon



[玄潮会] 望月大歌〈白〉2012年
Taiko Mochizuki, *Ippaku*, 2012

都美セレクション 新鋭美術家 2014

2月19日(水)~3月7日(金)

New-wave Artists 2014—From the Public Entry Exhibition
Feb 19 Wed – Mar 7 Fri

27の公募団体による合同展「ベストセレクション展 美術 2013」より新鋭作家5名を選抜し、その多様な表現を個展形式で紹介いたします。

[出品作家] 川島史也(二紀会・彫刻)、原田圭(二紀会・洋画)、本郷芳哉(国画会・彫刻)、丸山勉(日展・日本画)、吉田幸敏(創画会・日本画)

An introduction to the diverse expression of the latest works by five of cutting edge artists who have submitted their works for public entry exhibitions.

Artists: Fumiya Kawashima, Kei Harada, Yoshiya Hongo, Tsutomu Maruyama, Yukihiro Yoshida

入場料:一般500(300)円、65歳以上300円。()内は20名以上の団体料金。学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。

会場:東京都美術館 ギャラリーC

休室:3月3日(月)※2月21日(金)のみ20:00まで

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館 助成:公益財団法人朝日新聞文化財団 協力:コエドプルワリー

Admission: Adults: ¥500 / Seniors (65 and over): ¥300 Closed: Mar 3 Mon



丸山勉〈ささやき〉2010年
Tsutomu Maruyama, *whispers of trees*, 2010

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



第11回東京音楽コンクール優勝者コンサート

1月19日(日)

The 11th Tokyo Music Competition Winners Concert
Jan 19 Sun

第11回東京音楽コンクールの優勝者が、ソリストとしてオーケストラと共演します。新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください。

Emerging artists who were winners in the 11th Tokyo Music Competition will perform as soloists with an orchestral accompaniment.

開演：14:00 (13:20 開場)

出演：コハーン・イシュトヴァーン (クラリネット/木管部門第1位及び聴衆賞)、田原綾子 (ヴァイオリン/弦楽部門第1位及び聴衆賞)、黒岩航紀 (ピアノ/ピアノ部門第1位及び聴衆賞)、梅田俊明 (指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団、朝岡聡 (司会)

曲目：シュボア/クラリネット協奏曲第2番、バルトーク/ヴァイオリン協奏曲 遺作 (シェリイ補筆版)、チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番 ほか

料金：指定 2,000円 ※各種割引あり 会場：東京文化会館 大ホール

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館/読売新聞/花王株式会社/東京都 ※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Performers: Kohán István (Clarinet) Ayako Tahara (Viola) Koki Kuroiwa (Piano) Toshiaki Umeda (Conductor), Tokyo Philharmonic Orchestra, Satoshi Asaka (Navigator)

Admission: ¥2,000



コハーン・イシュト
ヴァーン
Kohán István

田原綾子
Ayako Tahara



黒岩航紀
Koki Kuroiwa

舞台芸術創造事業「ギリシャ悲劇 王女メディアの物語」

人形劇俳優たいらじょう×古楽アンサンブル

3月1日(土)

Story of Medea - Puppet play actor Jo Taira & Early music ensemble

Mar 1 Sat

人形劇俳優たいらじょうによる斬新な演出、ダンボール素材でつくり上げる人形と舞台。人形劇とバロック音楽が融合した独創的なステージで、ギリシャ悲劇の代表作を取り上げ、人間の情念に迫ります。

On the unique stage where a puppet play is fused with Baroque music, a representative piece of Greek tragedy will approach to human paths.

開演：15:00 (14:30 開場)

原作：エウリピデス

脚本・演出・美術・人形操演：たいらじょう

出演：セバスティアン・マルク (音楽監修/リコーダー)、アンサンブル・レ・ナシオン

曲目：独創的な劇のイメージに基づき、バロック時代のさまざまな作曲家の作品から選曲

料金：S席 5,800円、A席 3,800円、B席 2,000円 (B席は売切) ※各種割引あり

会場：東京文化会館 小ホール

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Script・Production・Art・Puppet play actor: Jo Taira

Performer: Sebastien Marq (Music Supervisor / Recorder), Ensemble les Nations

Admission: S seats: ¥ 5,800, A seats: ¥ 3,800, B seats: ¥ 2,000 (B seats: Sold out)



たいらじょう
Jo Taira

セバスティアン・マルク
Sebastien Marq

Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ

第5回 河野克典&小林沙羅

ミュラーと松本 隆 2つの「冬の旅」

1月31日(金)

第6回 武満 徹ソングブック・コンサート

3月8日(土)

Platinum Series No.5: Katsunori Kono & Sara Kobayashi: Two "Winterreise"

Jan 31 Fri

Platinum Series No.6: Toru Takemitsu Songbook Concert

Mar 8 Sat

第5回

出演：日本語版/小林沙羅 (ソプラノ)、小原孝 (ピアノ)、ドイツ語版/河野克典 (バリトン)、三ツ石潤司 (ピアノ) 曲目：シューベルト/「冬の旅」(松本隆訳 日本語版/原語 ドイツ語版)

第6回

出演：ショーロクラブ with ヴォーカリスト and 谷川俊太郎 歌：アン・サリー、沢知恵、おおたか静流、おおはた雄一、松平敬、松田美緒、tamamix 演奏：ショーロクラブ 秋岡政(バンドリン)、笹子重治(ギター)、沢田種治(コントラバス) 詩朗読：谷川俊太郎 曲目：翼/死んだ男の残したものは/三月のうた ほか

開演：1月31日 18:30 (18:00 開場) / 3月8日 19:00 (18:30 開場)

料金：S席 4,800円、A席 3,800円、B席 2,000円 (B席は売切)

会場：東京文化会館 小ホール

主催：東京都、東京文化会館、東京文化発信プロジェクト室/公益財団法人東京都歴史文化財団 ※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

No.5

Performers: Japanese version / Sara Kobayashi (Soprano), Takashi Obara (Piano), Original version / Katsunori Kono (Baritone), Junji Mitsuishi (Piano)

No.6

Performer: Choro Club (Musical instrument), Ann Sally, Tomoe Sawa, Shizuru Otaka, Yuichi Ohata, Takashi Matsuda, Mio Matsuda, tamamix (Vocal), Shunichiro Tanikawa (Poet reading)

Admission: S seats: ¥ 4,800, A seats: ¥ 3,800, B seats: ¥ 2,000 (B seats: Sold out)

CLOSE UP!

この企画に注目!

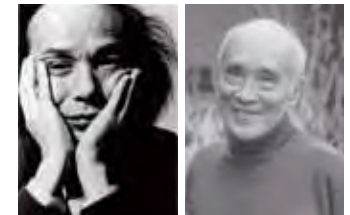
ミュージック・エデュケーション・プログラムでは、最先端のエデュケーション・プログラムを実施しているポルトガルの劇場カーザ・ダ・ムジカと連携。ワークショップを通して音楽や芸術に対する関心を高め、豊かな心を育てます。2月8日(土)・9日(日)には子供向けからファミリー向けまで、さまざまなタイプのワークショップを開催します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

The Music Education Program collaborates with the Portugal Theatre Casa da Música, which provides leading educational programs. Through workshops, the programs help foster a rich spirit and increased interest in arts and music. Please see our website for further details.



河野克典
Katsunori Kono

小林沙羅
Sara Kobayashi
© 岩切等



武満 徹
Toru Takemitsu
© 福井鉄也

谷川俊太郎
Shuntaro Tanikawa
© 菊池一郎



リズムカル・キッチンの写真
Rhythmic Kitchen

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

東京芸術劇場シアターオペラ vol.7 J. シュトラウスⅡ 喜歌劇「こうもり」全幕

2月20日(木)

Theatre Opera vol.7 J.Strauss II, "Die Fledermaus"
Feb 20 Thu

東京芸術劇場シアターオペラ第7弾。芸術アドバイザーにウィーンフォルクスオパーの名歌手、メラニー・ホリディを迎え、メラニー・セレクトの旬の歌手をヨーロッパ、アメリカから招聘。日本からは適材適所の名歌手をキャスティングします。全く新しい日本語版「こうもり」をお楽しみください。(※字幕付原語(ドイツ語)&一部日本語上演)

Tokyo Metropolitan Theatre's 7th opera. The theatre invites hot artists from Europe and America under the selection of Melanie Holliday, the great soprano of the Volksoper Wien, who serves as for the artistic advisor for this event. Japan will provide the right singers for the right jobs. An entirely new Japanese version of "Die Fledermaus" will be performed.

開演: 18:30 (17:30 ロビー開場)

出演: ハンス・リヒター (指揮)、ペーター・ボーディング (アイゼンシュタイン)、小川里美 (ロザリンデ)、小林沙羅 (アデレ)、タマラ・グーラ (オルロフスキー)、ジョン・健・ヌッツォ (アルフレード)、西村雅彦 (フロッシュ)、メラニー・ホリディ (2幕のみ)、東京交響楽団、武蔵野音楽大学 (コーラス) ほか

料金: S席 10,000円、A席 8,000円、B席 6,000円、C席 4,000円、D席 3,000円、E席 1,500円 (E席は売切)

会場: 東京芸術劇場 コンサートホール

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、石川県音楽文化振興事業団、東京交響楽団

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Performer: Hans Richter (Conductor), Peter Bording (Eisenstein), Satomi Ogawa (Rosalinde), Sara Kobayashi (Adele), Tamara Gura (Orlofsky), John Ken Nuzzo (Alfred), Masahiko Nishimura (Frosch), Melanie Holliday (second act only), Tokyo Symphony Orchestra, Musashino Academia Musicae (Chorus), etc.

Admission: S seats: ¥10,000, A seats: ¥8,000, B seats: ¥6,000, C seats: ¥4,000, D seats: ¥3,000, E seats: ¥1,500 (E seats: Sold out)

CLOSE UP!

このプログラムに注目!

「野田秀樹作一人芝居×2バージョン『障子の国のティンカーベル』(2月13日~17日、20日~23日)は野田秀樹の戯曲を気鋭の演出家により紹介していくシリーズの第2弾。穂谷友子、奥村佳恵のダブルキャストにより、野田作品「The Bee」にも出演したマルチェロ・マーニの演出で上演します。

"Tinkerbell in Shoji Land" (Feb.13 - 17, 20 - 23) is the second series of the theatre project which introduces Hideki Noda's play directed by leading directors. Marcello Magni who was performed for Noda's "THE BEE" will direct this play, performed by Tomoko Mariya and Kae Okumura as double-cast.

左から、奥村佳恵、マルチェロ・マーニ、穂谷友子 ©端裕人



ハンス・リヒター
Hans Richter

ペーター・ボーディング
Peter Bording

東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

2月1日(土)

Tokyo Metropolitan Theatre Presents Classical Players Tokyo, Concert
Feb 1 Sat

古典派以降の管弦楽曲に取り組んできたクラシカル・プレイヤーズ東京が、満を持してオール・バロック・プログラムに挑みます! エマヌエル・バッハ誕生 300 年を記念して贈るオルガン協奏曲では、オリジナルの響きを再現する芸劇のパイプオルガンが登場します。

Classical Players Tokyo, which has been working on orchestral music after the classical school, will present its long-awaited All Baroque Program. An organ concerto will be performed to celebrate the 300th anniversary of Emanuel Bach. A pipe organ in the Tokyo Metropolitan Theatre will reproduce the original sound.

開演: 14:00 (13:00 ロビー開場)

出演: 有田正広 (指揮・チェンバロ)、宇治川朝政 (リコーダー)、堂阪清高 (ファゴット)、ジャン＝フィリップ・メルカールト (オルガン)、クラシカル・プレイヤーズ東京 (オリジナル楽器使用・管弦楽)

曲目: A. ヴィヴァルディ / 『調和の靈感』 Op.3 から第10番 4つのヴァイオリンのための協奏曲短調、G.P. テレマン / リコーダーとファゴットのための二重協奏曲へ長調、C.P.E. バッハ / オルガン協奏曲ト長調、J.S. バッハ / 管弦楽組曲第3番二長調

料金: S席: 4,000円、A席: 3,000円、B席: 2,000円

会場: 東京芸術劇場 コンサートホール

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Performer: Masahiro Arita (Conductor / Cembalo), Tomokazu Ujigawa (Recorder), Kiyotaka Dousaka (Fagott), Jean-Philippe Merckaert (Organ), Classical Players Tokyo

Admission: S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, Side seat: ¥2,000



有田正広
© Hikaru☆
Masahiro Arita



(左から) 宇治川朝政・堂阪清高 (© Hikaru☆)・ジャン＝フィリップ・メルカールト
from left: Tomokazu Ujigawa, Kiyotaka Dousaka, Jean-Philippe Merckaert

「おそろべき親たち」

3月2日(日)~16日(日)

Les Parents terribles by Jean Cocteau

Mar 2 Sun - 16 Sun

没後 50 年、ジャン・コクトーの傑作が圧倒的な存在感を誇る出演者でよみがえります。「家族」という社会の最小単位を通して、愛情とは何か、家族とは何か、人が人と交わって生きることを鋭く問いかけます。Fifty years after his death, Jean Cocteau's masterpiece will be revived with casts who give a strong impact. This play will sharply question the significance of people living with other people, through society's smallest unit, the "family," and what is love, what is a family.

作: ジャン・コクトー 翻訳・台本: 木内宏昌 演出: 熊林弘高

出演: 佐藤オリエ、中嶋朋子、満島真之介、中嶋しゅう、麻実れい

料金: 一般 6,000円、高校生割引 1,000円、65歳以上 5,000円、25歳以下 3,000円

会場: 東京芸術劇場 シアターウエスト

主催: 東京都、東京芸術劇場・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Text: Jean Cocteau Translation/Text: Hiromasa Kiuchi Direction: Hirota Kumabayashi

Performer: Orié Sato, Tomoko Nakajima, Shinnosuke Mitsushima, Shu Nakajima, Rei Asami

Admission: Adult: ¥6,000, High school students: ¥1,000, 65 and over: ¥5,000, 25 and under: ¥3,000



左から: 佐藤オリエ、中嶋しゅう、麻実れい、満島真之介、中嶋朋子
(from left:) Orié Sato, Shu Nakajima, Rei Asami, Shinnosuke Mitsushima, Tomoko Nakajima

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site



ワンダーシード2013 入選作品
Works from WONDER SEEDS 2013

ワンダーシード 2014

2月1日(土)～3月2日(日)

WONDER SEEDS 2014

Feb 1 Sat - Mar 2 Sun

若手アーティストを対象に公募を行い、入選作品を展覧会場にて販売をする「ワンダーシード」。「BUY=SUPPORT」(作品購入が若手アーティストの支援となる)をコンセプトに、若手アーティストの作品と多くの美術愛好家が出会える場をつくることを目的として、2003年に始まりました。さまざまな立場からアートに関わる、現代アートに造詣の深い審査員たちが作品を選出します。10号以下の小作品が応募対象のため、家でも気軽に飾ることができ、コレクターの方はもちろん、アートを購入するのは初めてという方にもお楽しみいただける展覧会です。

WONDER SEEDS is an open call exhibition aimed to connect young artists and potential new art consumers. This program was designed to support young artists following the concept of "BUY = SUPPORT"; selected entries of accessible small works (paintings, prints, illustrations, photographs, etc.) from all across Japan are displayed and sold. Every year, the works of approximately 100 artists chosen from a large number of entries are exhibited at TWS Shibuya, where visitors can casually buy the favorite artwork at an affordable price.

入場料:無料

会場:トーキョーワンダーサイト渋谷

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Admission: Free

Venue: Tokyo Wonder Site Shibuya

Closed: Mon (When Mon is a national holiday,
closed on the following day)

AAA: アジア・アナキー・アライアンス ～汎亜細亜超政府芸術集結～

3月8日(土)～4月20日(日)

AAA Asia Anarchy Alliance

Mar 8 Sat - Apr 20 Sun

台湾の若手キュレーター、ウー・ダークンが企画する展覧会を、トーキョーワンダーサイト渋谷、本郷の2会場にて開催します。台湾で活動する作家を中心に、アジア圏から気鋭のアーティストの作品を紹介。また、都内その他会場での関連企画を予定しています。

[参加アーティスト] チェン・ジエレン(台湾)、ユエン・グァンミン(台湾)、ヤオ・レイヅオン(台湾)、ドウ・ペイシー(台湾)、ジャン・リーレン(台湾)、チェン・ジンユエン(台湾)、チェン・チンヤオ(台湾)、イエ・チェン・ユウ(台湾)、ジョンペット・クスウィダナント(インドネシア)、スン・ユアン+ポン・ユウ(中国)

An up-and-coming Taiwanese curator, Wu Dar-Kuen will introduce works of cutting-edge artists from Taiwan, Indonesia and China etc. at TWS Shibuya and TWS Hongo.

Artists: Chen Chieh-Jen, Yuan Goang-Ming, Yao Jui-Chung, Tu Pei-Shih, Chang Li-Ren, Cheng Ching-Yuan, Chen Ching-Yao, Yen Chen-Yu, Jompet Kuswidananto, Sun Yuan + Peng Yu

入場料:無料

会場:トーキョーワンダーサイト本郷、トーキョーワンダーサイト渋谷

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト、プロジェクト・フルフィル・アート・スペース、關渡美術館(国立台北芸術大学)

Admission: Free

Venue: Tokyo Wonder Site Hongo, Tokyo Wonder Site Shibuya



チェン・ジエレン《The Route》2006年
Chen Chieh-Jen, *The Route*, 2006



陳擘耀《International Radio Exercise》2012年
Chen Ching-Yao, *International Radio Exercise*, 2012

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

若手アーティストを中心としたグループ展「島からのまなざし」(2月19日～3月7日)を、東京都美術館ギャラリーBにて開催します。

参加作家: 池田晶紀、大小島真木、小松敏宏、林千歩、村上佳苗、吉田夏奈

A group exhibition of up-and-coming artists will be presented at the Tokyo Metropolitan Art Museum Gallery B (Feb 19-Mar 7).

小松敏宏 高見島での展示風景(参考作品)

Toshihiro Komatsu, An installation view in Takamijima island (only for reference purpose)



東京文化発信プロジェクト

Tokyo Culture Creation Project



東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、芸術文化団体やアートNPO等と協力して都内各地で多様な事業を実施しています。

Tokyo Culture Creation Project, in cooperation with arts organizations and NPOs, undertakes a variety of programs to establish Tokyo as a city of global cultural creativity.

東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験 発表会

能楽:3月21日(金・祝)、長唄・三曲・日本舞踊:3月27日(木)、28日(金)

Traditional Performing Arts for Kids "Public Performance" Noh: Mar 21 Fri, holiday,
Nagauta, Sankyoku, Nihon Buyo: Mar 27 Thu, 28 Fri

能楽、長唄、三曲、日本舞踊の4つの領域で、7か月にわたり伝統芸能の一流の芸術家から直接指導を受けた子供たちが、その成果を本格的な舞台上で発表します。

Children give public performances to demonstrate the results of the skills which they have practiced for a seven-month period, instructed by leading artists in four genres of traditional arts; Noh, Nagauta, Sankyoku, and Nihon Buyo.

会場:21日(金・祝):宝生能楽堂/27日(木)、28日(金):浅草公会堂

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会

Venues: Mar 21: Hoshonohgakudo / Mar 27, 28: Asakusa Public Hall



長唄三味線の発表の様子
A scene from Nagauta performance



日本舞踊の発表の様子
A scene from Nihon Buyo performance



能楽囃子(太鼓)の発表の様子
A scene from Noh performance



箏曲の発表の様子
A scene from Sokyoku performance

アートアクセスあだち 音まち千住の縁

大友良英「千住フライングオーケストラ 縁日」

3月21日(金・祝)

Otomo Yoshihide, "Senju Flying Orchestra" / Art Access Adachi: Downtown Senju - Connecting through Sound Art
Mar 21 Fri, holiday

「千住フライングオーケストラ」は、音楽家の大友良英が中心となり、公募で集まった「チーム・アンサンブルズ」のメンバーとともに、「空から音が降り注ぐ演奏会」を展開するプロジェクトです。活動開始から3年目にあたる今年は、水産物専門の魚市場・足立市場で、大友良英プロデュースによる「縁日」を開催します。

※最新情報はウェブサイト <http://aaa-senju.com> をご覧ください。

The Senju Flying Orchestra is a project to provide a "concert of sounds falling from sky" with the musician Otomo Yoshihide as the center driving force and "Team Ensembles" members who gathered through open calls. This year marks the third year since their activities started, and therefore they will present a completion-like main event. For the latest information, please see the website. <http://aaa-senju.com> *Japanese only

出演: 大友良英、遠藤一郎 ほか

会場: 東京都中央卸売市場 足立市場(足立区千住橋戸町50)

参加費: 無料

主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京藝術大学音楽学部、特定非営利活動法人やるね、足立区

Venues: Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market Adachi Market

Admission: Free



平成24年度 大友良英「千住フライングオーケストラ」
撮影:高島圭史
Otomo Yoshihide, "Senju Flying Orchestra" 2012
Photo: Takashima Keiji

CLOSE UP!

このプログラムに注目!

「としまアートステーション構想」の拠点である、としまアートステーション[Z]では、どなたでもふらっと立ち寄れて、文化情報に触れたり、アートイベントに参加できる交流の場「ふらっとカフェ」を開催中です(毎週日・火・水曜日)。
※詳細はウェブサイト www.toshima-as.jp/ をご覧ください。

Toshima Art Station [Z], a hub of the Toshima Art Station Koso, is offering "flat CAFE" for anyone who can just drop by or visit to find cultural information or to become involved in art events. (Open every Sunday, Tuesday and Wednesday)

For further details, please see the website at www.toshima-as.jp/

*Japanese only



Photo: Yusuke Nakajima



完成予想図
Rendering

改修工事のため全面休館中 2014 年中リニューアル開館

Temporarily closed for renovations - will reopen in 2014

東京都庭園美術館は 2011 年 11 月より、リニューアル工事のため全面休館しています。今回の工事では、歴史的建造物である旧朝香宮邸の保存と建物の特性を生かした美術館活動の実施を目的に、本館(旧朝香宮邸)改修工事、及び管理棟(かつての新館)改築工事を行います。休館中もウェブサイトでは、改修工事の進捗状況、リニューアルオープンに向けての最新情報などを発信しています。

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum has been closed since November 1, 2011 for renovations. The work is taking place on the main building (the former residence of the family of Prince Asaka) and the administrative building (temporarily called the new annex), with the purpose of conserving the historic structure of this former residence and to enable the buildings to function more effectively as an art museum. During the closure period, the museum has been reporting the ongoing renovation process and its preparatory activities.

Please see the website at <http://www.teien-art-museum.ne.jp>

CLOSE UP!

このウェブサイト注目!

東京都庭園美術館は、休館中も講演会、映画上映プログラム、小冊子作りのワークショップなど多様な教育普及プログラムをさまざまな会場で開催しています。そして、これらのイベントのレポートを庭園美術館のウェブサイトやブログで紹介しています。ぜひご覧ください!

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum is engaged in educational programs, lectures, film screenings, and various workshops such as creating booklets, during the long period of renovation. The event reports are available on the website and blogs. Please take a look.



明治学院大学で開かれた巖谷國士氏による講演会の様子。イベントの詳細はウェブサイトやブログをご覧ください
A scene from Prof. Kunio Iwaya's lecture held at Meiji Gakuin University. Further details are available at the website and blogs.

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



<http://www.rekibun.or.jp>

(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

<http://tokyoartnavi.jp>

(トーキョー・アート・ナビゲーション)

東京都歴史文化財団と『美術手帖』の連動企画 「第3回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」

大賞、特別賞受賞者による個展を1月中旬より開催

A collaborative project of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture and BIJUTSU TECHO "The 3rd Tokyo Art Navigation Competition" Solo exhibition by the Grand Prize winner to be held in mid-Jan

アーティストの発掘・支援を目的に、2011年から毎年開催している「トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」。審査の結果、第3回の受賞者が決まりました。大賞に選ばれたのは大野修平さん、特別賞は衛藤文俊さんです。1月中旬から神保町のアート出版ビューイングスペース、BTギャラリーで受賞作品展を開催します。たくさんのご来場をお待ちしております。

※詳細はコンペ特設サイト www.bijutsu.co.jp/bss/tan をご覧ください。

"Tokyo Art Navigation Competition" has been held annually since 2011 for the purpose of seeking and supporting artists. The 3rd grand prix winner, Shuhei Ohno, has been selected. In mid-Jan, the winning works will be on exhibit at the BT Gallery at Viewing Space in Bijutsu Shuppansha Co., Ltd, Jinbocho, Chiyoda-ku. We look forward to your visit.

For details, please see the competition special site at www.bijutsu.co.jp/bss/tan.



コンペは「トーキョー・アート・ナビゲーション」内の「アーティスト・ファイル」登録者を対象に実施。注目の作家は、facebook (www.facebook.com/TanCompe) などでも紹介しています。作家活動のPRの場としては是非ご活用ください(登録無料)
※写真は受賞作品

毎月更新!

読者参加型のコラム「イベント・レポート」

Event Report of viewers' participating column. Updated monthly!

「トーキョー・アート・ナビゲーション」では、アーティスト情報だけでなく展覧会やインタビュー記事など、東京の多彩なアート情報を発信しています。なかでも「イベント・レポート」というコラムでは、読者のみなさんが参加できるアート・イベントを開催し、その様子を紹介しています。次回の参加申込の詳細は公式 HP (tokyoartnavi.jp) をご覧ください。

Tokyo Art Navigation transmits a wide variety of art information in Tokyo, including exhibitions, interview columns, and artists' information. In particular, "Event Report" is a column reporting art events that the column viewers can take part in. For details, please see the website tokyoartnavi.jp to participate.



これまで「写真講座」(左)、「仏像鑑賞」(中央/イラスト:田中ひろみ)、「けんちく体操」(右)といったアート・イベントを開催

東京都 現代美術館

1995年に開館した。その名の通り、現代美術を中心に展示する美術館です



となりは都立本場公園



美術館のまわりには屋外彫刻がいくつも展示されています

館内に入ると長いエントランスホール(約140m)

アンソニー・カロの《発見の塔》

中はまるで迷路のよう



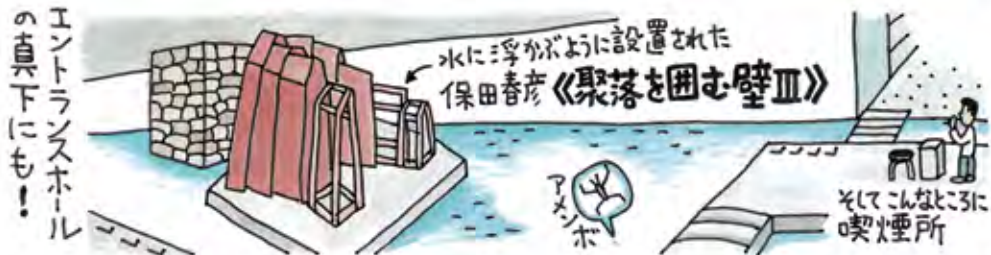
不規則で急な階段がちょっとこわい

無機質な建物に映えるカラフルでかわいらしい形のソファ



こんな展示(?)も
《オノ・ヨーコ 東京のウィッシュリ》
原研哉の「もじの木」

1日3回、時間を決めて開放されます



水に浮かぶように設置された保田香彦《聚落を囲む壁Ⅲ》

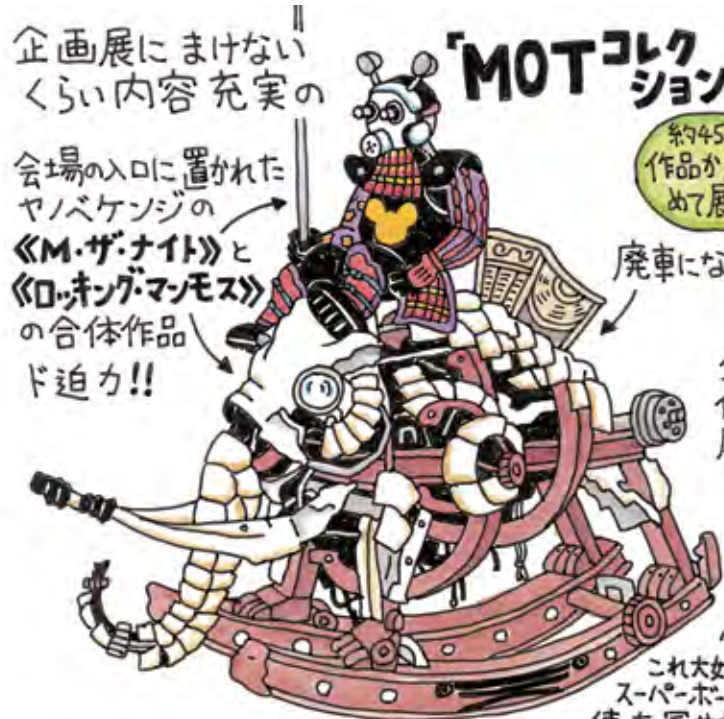
そしてこんなところに喫煙所

エントランスホールの直下にも!

企画展にまけないくらい内容充実の『MOTコレクション』(企画展チケットで入場可) も見ものです

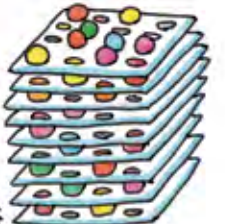
約4500点の収蔵作品からテーマを決めて展示されます

会場の入口に置かれたヤノベケンジの《M・ザ・ナイト》と《ロッキング・マンモス》の合体作品ド迫力!!



廃車になったハイエース

企画展で展示された作品が収蔵され再び展示されることもある



これ大好きスーパーボールを使った「富井大裕」の《ball sheet ball》(だいがぶ省略して描きました。スマセン)

約10万冊の美術関係図書が揃う美術図書室



展覧会の図録やチラシ、美術雑誌なども閲覧できます

子供用美術書のコーナーも



館内のベトナム風カフェCafé Hai(ハイ)でランチ



「肉団子のフォー」のランチプレート(1000円)

思いわず買ってしまった空っぽのカスター(ムスター)

①こうして ②せんかりに あまり使わないけど

連載：東京「鉄道」風景

A look at Tokyo's railways

写真・文／千倉志野

Photographs and Text by Shino Chikura

● Scene3

上野動物園モノレール

Ueno Zoo Monorail

写真協力：東京都交通局



日本最初のモノレールは動物園のなか

Japan's first monorail in the zoo

モノレールの車両が通り過ぎるたびに、子供たちが「でんしゃ、きたー!」と嬉しそうに頭上を見上げ、手を振っている。木もれ日溢れるなか、動物のイラストでカラフルに彩られた車両が光り、子供たちの笑顔もキラキラ弾ける。

上野動物園には何度も来たことがあるけれど、そういえばモノレールには乗ったことがなかったなあと思いつき、せっかくだから乗ってみることにした。園内の東園駅と西園駅、距離にしたらたったの300メートルを結ぶ2駅をのシンプルな区間で、時刻表には「8～15分間隔で運転しています」と、なんともゆる～い表示。すぐに乗れるものと思っていたら、ちびっ子たちに大人気らしく行列だ。

順番が来て車両に乗り込むと、急に狭い空間にぎゅっと押し込められた気がして、自分が檻の中の動物になった気分になった。動物はいつもこんな感じなのかしら、なんて思っているうちに出発! さっきまでとは違う上からのアングル、目の前を慌ただしく流れていく景色を必死に追いかける。動物園の敷地を出て一般道の上を一瞬だけ走ったあとには不忍池の蓮の緑がパッと広がり、あっという間に到着。降りたらペンギンの目の前で、また眩しい外の世界が目の前に広がった。



Every time a monorail train passed by, children looked up happily and waved their hands, yelling "a train is coming!" In the sunlight filtering down through the trees, and with images of animals colorfully illustrated on the exterior, the monorail looked shiny, and a smile lit up the faces of children.

Realizing that I had never boarded the monorail even though I had visited Ueno Zoo so many times, I decided to take a ride in it.

Within the zoo precincts, the monorail runs along a simple track for a short distance of 300 meters between the only two stations of Higashien Sta. and Nishien Sta. The timetable vaguely read "Trains are running at eight to fifteen-minute intervals." I thought that I could ride it with ease, but a waiting line unexpectedly began to form. The monorail seemed very popular among kids.

My turn came around. As I got into the car, I felt as if I was suddenly crammed into a small space like an animal in a cage. I had hardly wondered whether animals always felt like this until the train started to move! Looking down from different angles just a few minutes ago, I tried to desperately catch views that were passing by so fast

in front of my eyes. As soon as the monorail ran out of the zoo precincts and in an instant passed over a public road, an expanse of green color lotuses in Shinobazu Pond came into sight, and before long the monorail arrived at the station. When I got out of the monorail, I was greeted by penguins. The dazzling outer world opened up again in front of my eyes.



千倉 志野 Shino Chikura

1977年横浜生まれ。学習院大学文学部ドイツ文学科卒業後、スタジオ・アシスタントを経て、2003年にドイツ・ベルリンにて写真を学ぶ。フォトグラファーとして、「人」「旅」「自転車」をキーワードに国内外で撮影を行う。

Born in Yokohama in 1977. After majoring in German Literature at the Faculty of Letters in Gakushuin University, she worked as a studio assistant, following which she went to Berlin, Germany to work as a photographer assistant in 2003. "people," "travel" and "bicycles" are the keywords in the pictures she takes as a photographer.

<http://www.shinofoto.net/>

[今月の撮影スポット]

上野動物園モノレール

正式名称は「上野懸垂線(うえのけんすいせん)」。日本で最初に開業したモノレールで、園内の東園駅と西園駅の1区間を結ぶ。所要時間は約1分半。

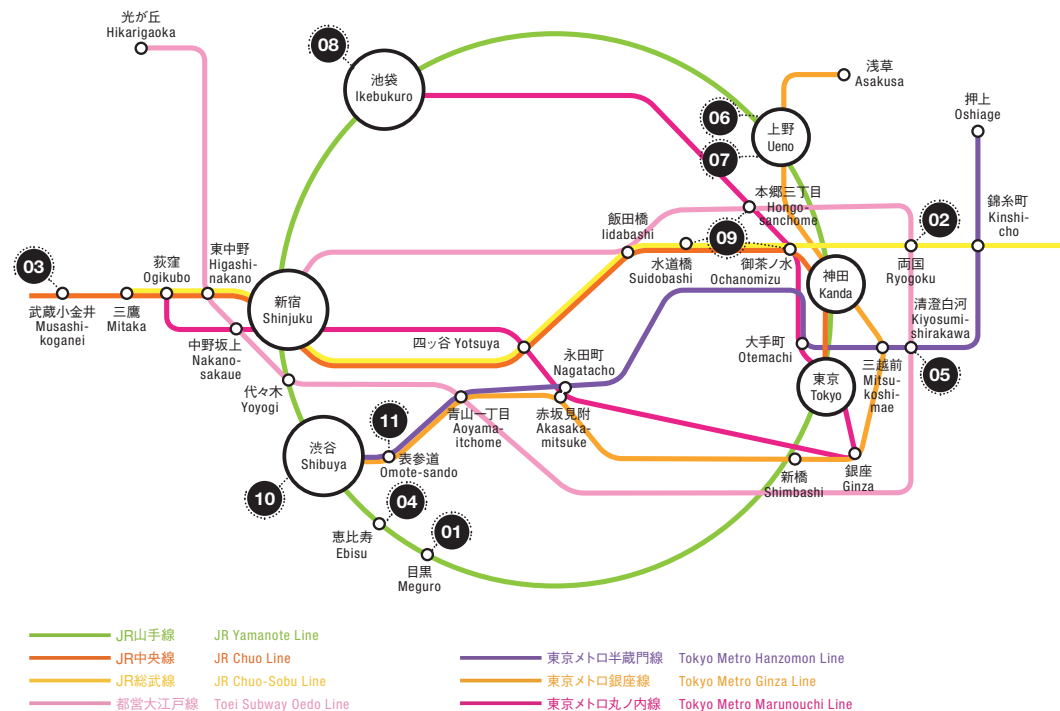
Ueno Zoo Monorail

The official name is "Ueno Kensui-sen" or Ueno suspended monorail line. It is the first monorail system operated in Japan, and only runs a single section between Higashien Sta. and Nishien Sta. in one and a half minutes within the precincts of the Ueno Zoo.

Maps & Information

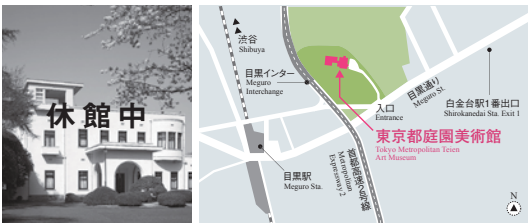
- 公益財団法人東京都歴史文化財団
Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
<http://www.rekibun.or.jp>
- トーキョー・アート・ナビゲーション
Tokyo Art Navigation
<http://tokyoartnavi.jp>
- 観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館の常設展・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展)
・都内在住・在学の中学生、小学生以下は無料
・65歳以上の方は、一般料金の半額、毎月第3水曜日は無料
・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額
・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo, and Collection Exhibition of Tokyo Metropolitan Museum of Photography)
・ Admission Fee : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
・ Half Price : Seniors (65 and over)
・ Seniors (65 and over) are admitted for free on the third Wed of every month.
・ Adults accompanying children under 18 years old are admitted for half price on the third weekend of every month.
・ Fees may vary depending on the exhibitions and events. So, please confirm if fees are not indicated.
- 休館日は各館異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください
Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map



01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



改修工事のため全面休館中 2014年中リニューアル開館予定
TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - WILL REOPEN IN 2014

所在地:〒108-0071 港区白金台5-21-9 交通:都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分、JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分 休館日:第2・第4水曜日(祝日の場合は翌水曜日)、年末年始 開館:10:00-18:00

Address: 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 Closed: 2nd and 4th Wednesday (or Thursday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00

Tel: 03-3443-0201 URL: www.teien-art-museum.ne.jp

※上記の情報は休館前のものです

*The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地:〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 交通:JR两国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線两国駅A4 出口より徒歩1分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:常設展は一般600円、大学生480円、65歳以上・都外中・高校生300円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-17:30(土曜日-19:30)

Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 Open: 9:30-17:30 (-19:30 Saturday)

Tel: 03-3626-9974 URL: www.edo-tokyo-museum.or.jp

03 江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地:〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通:JR 武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中・高校生200円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-16:30(4-9月-17:30)

Address: 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school(outside of Tokyo) and high school students ¥200 Open: 9:30-16:30 (-17:30, Apr.-Sep.)

Tel: 042-388-3300 URL: www.tatemonoen.jp

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



所在地:〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館:10:00-18:00(木・金曜日-20:00)

Address: Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays)

Tel: 03-3280-0099 URL: www.syabi.com

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地:〒135-0022 江東区三好4-1-1 交通:東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分、東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分、バス停「木場駅前」から(業10)「とうきょうスカイツリー駅前」行、(東20)「錦糸町駅前」行、JR東京駅丸の内北口2番乗り場よりバス(東20)「錦糸町駅前」行、すべて「東京都現代美術館前」下車 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:常設展は一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 開館:10:00-18:00

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥500/Students (College /University) ¥400/High school students and seniors (65 and over) ¥250 Open: 10:00-18:00 Tel: 03-5245-4111 URL: www.mot-art-museum.jp

06 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地:〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通:JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄上野駅より徒歩10分

休館日:第1・第3月曜日、特別展・企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館:9:30-17:30(特別展開催中の特別展・企画展は金曜日20:00まで)

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 Closed: Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (or Tuesdays when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 9:30-17:30 (Special Exhibition:-20:00 Friday) Tel: 03-3823-6921 URL: www.tobikan.jp

07 東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



所在地:〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通:JR上野駅公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 休館日:年末年始 開館:9:00-22:00

Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00 Tel: 03-3828-2111 URL: www.t-bunka.jp

08 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地:〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通:JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下2b出口直結 休館日:年末年始 開館:9:00-22:00

Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00 Tel: 03-5391-2111 URL: www.geikei.jp

09 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地: 〒113-0033 文京区本郷2-4-16 **交通:** JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 **休館日:** 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:** 11:00-19:00
Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00
Tel: 03-5689-5331 **URL:** www.tokyo-ws.org

10 トーキョーワンダーサイト渋谷

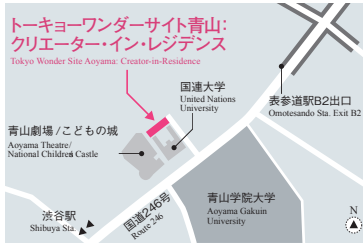
Tokyo Wonder Site Shibuya



所在地: 〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 **交通:** JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分 **休館日:** 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:** 11:00-19:00
Address: 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00
Tel: 03-3463-0603 **URL:** www.tokyo-ws.org

11 トーキョーワンダーサイト青山: クリエーター・イン・レジデンス

Tokyo Wonder Site Aoyama: Creator-in-Residence



所在地: 〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山 SOUTH棟3階 ※オープン・スタジオ、レクチャー等開催時のみ一般公開 **交通:** 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分、JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線各線渋谷駅より徒歩8分
Address: COSMOS Aoyama SOUTH 3F 5-53-67 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150-0001 ※ Open to the public for events only
Tel: 03-5766-3732 **URL:** www.tokyo-ws.org

ART NEWS TOKYO 2014.1-3

発行日 : 2014年1月1日(季刊1、4、7、10月発行)
 発行 : 公益財団法人東京都歴史文化財団
 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 Tel. 03-5610-3503
 企画 : 公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
 編集 : 株式会社美術出版社
 デザイン : 宮外麻周(m-nina)
 翻訳 : 株式会社アーバン・コネクションズ
 印刷・製本 : 富士美術印刷株式会社

© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.

本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

※掲載した情報は2013年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。

ART NEWS TOKYO Art & Culture Calendar

1-3月の催事カレンダー

- 休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。 ● 本表は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。 ● 掲載した情報は2013年12月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。 ● 掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。 ● ◎印のついたプログラムは、東京文化発信プロジェクト事業です。
- The information herein as of December 2013. Schedules may be subject to change due to unavoidable circumstances. Please refer to the website of each facility for details.
- English interpretation may not be provided at each event. ● ◎ A program of the Tokyo Culture Creation Project.

1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館(平成26年中リニューアル開館予定) Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 国際浮世絵学会創立50周年記念 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 大浮世絵展 1.2-3.2 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Ukiyo-e: A Journey Through the Floating World.																														
	常設展 東海道五拾三次 1.2-2.2 Fifty-three Stations of the Tokaido																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 武蔵野の歴史と民俗～江戸東京たてももの園収蔵品展～ 2013.7.20-3.2 History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																														
	園内 4日まで休館 Closed																														
	新春の昔あそび 1.11-13 New Year's Event																														
	伝統工芸の実演 1.11-12 Demonstration of Creating Traditional Craft																														
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 Ueda Shoji & Jacques Henri Lartigue Play With Photography 2013.11.23-1.26																														
	2F 展示室 日本の新進作家 vol.12 路上から世界を変えていく 2013.12.7-1.26 Contemporary Japanese Photography vol.12: every stroller can change the world.																														
	B1F 展示室 高谷史郎 明るい部屋 2013.12.10-1.26 Takatsuki Shiro Camera Lucida																														
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション: 第1部 わたしたちの90年 1923-2013 第2部 つくる、つかう、つかまえる—いくつかの彫刻から 2013.10.3-1.19 MOT Collection Part 1: Our Ninety Years 1923-2013 Part 2: Acts of Sculpture—Use, Capture, Create																														
	企画展示室 3階、1階・A室 東京アートミーティング [第4回] うさぎスマッシュ展 世界に触れる方法(デザイン) 2013.10.3-1.19 Tokyo Art Meeting IV BUNNY SMASH design to touch the world																														
	企画展示室 B2階・アトリウム、1階・B室、ホワイエほか 吉岡徳仁—クリスタライズ 2013.10.3-1.19 TOKUJIN YOSHIOKA_Crystallize																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	公募展示室 ロビー階第1・第2 TOKYO 書 2014 公募団体の今 1.4-16 TOKYO "SHO" 2014: Japanese Calligraphy Today																														
	企画展示室 3日まで休館 Closed																														
	富士をみつめて 1.4-1.16 Viewing Fuji																														
	第2回 都美セレクション グループ展 Field of Painting ギャラリーC 1.4-10 Group Show of Contemporary Artists 2013 Field of Painting Gallery C																														
	第2回 都美セレクション グループ展 dot. 女性日本画家展 ギャラリーB 1.19-2.4 Group Show of Contemporary Artists 2013: dot. Female Nihonga Artists' Exhibition Gallery B																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 休館 Closed																														
	渋谷 休館 Closed																														
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence																														
	※詳細はウェブサイトへ *Please see our website for further details.																														

■ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、14日(火)は開館 ※東京都江戸東京博物館は、年始2日(木)から開館。2日・3日は常設展無料。14日(火)、20日(月)は開館
※東京都写真美術館は28日(火)～31日(金)休館 ※東京都現代美術館は20日(月)～2月14日(金)休館

Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day), open on 14 Tue. Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum is open on 14 Tue and 20 Mon. Tokyo Metropolitan Museum of Photography is closed on 28 Tue-31 Fri. Museum of Contemporary Art Tokyo is closed on 20 Mon-Feb 14 Fri.

2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri			
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館(平成26年中リニューアル開館予定) Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 国際浮世絵学会創立50周年記念 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 大浮世絵展 1.2-3.2 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Ukiyo-e: A Journey Through the Floating World.																														
	常設展 東海道五拾三次 1.2-2.2 Fifty-three Stations of the Tokaido																														
	2011.3.11 平成の大津波被害と博物館—被災資料の再生をめざして— 2.8-3.23 Museums and damage by a great tsunami in the Heisei Era—Aiming to rejuvenate materials damaged in the disaster																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 武蔵野の歴史と民俗～江戸東京たてももの園収蔵品展～ 7.20-3.2 History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																														
	園内 伝統工芸の実演 2.8-9 Demonstration of Creating Traditional Crafts																														
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 第6回 恵比寿映像祭 トゥルー・カラース 2.7-23 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2014 TRUE COLORS																														
	2F 展示室 第6回 恵比寿映像祭 トゥルー・カラース 2.7-23 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2014 TRUE COLORS																														
	B1F 展示室 第6回 恵比寿映像祭 トゥルー・カラース 2.7-23 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2014 TRUE COLORS																														
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション 2.15-5.11 MOT Collection																														
	企画展示室 3F MOT アニュアル 2014 フラグメント—未完のはじまり 2.15-5.11 MOT Annual 2014 Fragments-Incomplete Beginnings																														
	企画展示室 1F、ホワイエ 「驚くべきリアル」展 スペイン、ラテンアメリカの現代アート—MUSACコレクション— 2.15-5.11 The Marvelous Real -Contemporary Spanish and Latin American Art from MUSAC Collection-																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	企画展示室 日本美術院再興100年 特別展「世紀の日本画」(前期) 1.25-2.25 The Centennial Exhibition of the Japan Art Institute's Revival: The Masterpieces of Nihonga																														
	ギャラリーC 都美セレクション 新鋭美術家 2014 2.19-3.7 New-wave Artists 2014—From the Public Entry Exhibition																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 キュレーション・ゼミ 2.1 (予定) Curation Seminar																														
	渋谷 ワンダーシード 2014 2.1-3.2 WONDER SEEDS 2014																														
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence																														
	オープン・スタジオ 2.15 OPEN STUDIO																														
	キュレーション・ゼミ 2.8 (予定) Curation Seminar																														
	キュレーション・ゼミ 2.22 (予定) Curation Seminar																														

■ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、26日(水)～28日(金)は展示入れ替えによる休室、24日(月)は臨時開室
※東京都写真美術館は1日(土)～6日(木)、25日(火)～28日(金)休館 ※東京都現代美術館は1月20日(月)～14日(金)休館

Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day), closed from Feb 26 Wed-28 Fri due to the replacement of works open on 24 Mon. Tokyo Metropolitan Museum of Photography is closed on 1 Sat-6 Thu, 25 Tue-28 Fri. Museum of Contemporary Art Tokyo is closed on Jan 20 Mon- 14 Fri.

3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum	改修工事のため全面休館(平成26年中リニューアル開館予定) Temporarily closed for renovations (will reopen in 2014)																														
東京都江戸東京博物館 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum	特別展 国際浮世絵学会創立50周年記念 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 大浮世絵展 1.2-3.2 20th anniversary special exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum, Ukiyo-e: A Journey Through the Floating World.																														
	常設展 東海道五拾三次 1.2-2.2 Fifty-three Stations of the Tokaido																														
	2011.3.11 平成の大津波被害と博物館—被災資料の再生をめざして— 2.8-3.23 Museums and damage by a great tsunami in the Heisei Era—Aiming to rejuvenate materials damaged in the disaster																														
江戸東京たてももの園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum	展示室 武蔵野の歴史と民俗～江戸東京たてももの園収蔵品展～ 7.20-3.2 History and folklore of Musashino: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Collection Exhibition																														
	園内 伝統工芸の実演 3.8-9 Demonstration of Creating Traditional Crafts																														
東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography	3F 展示室 下岡蓮村(仮称) 3.4-5.6 SHIMOOKA Renjiro (Tentative)																														
	2F 展示室 黒部と槍 冠松次郎と穂刈三寿雄 3.4-5.6 Valleys and Peaks: Kanmuri Matsujiro and Hokari Misuo																														
	B1F 展示室 APA アワード 2014 3.1-3.16 APA AWARD 2014																														
	101年目のロバート・キャパ 3.22-5.11 101th Year of Robert Capa																														
東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo	常設展示室 MOTコレクション 2.15-5.11 MOT Collection																														
	企画展示室 3F MOT アニュアル 2014 フラグメント—未完のはじまり 2.15-5.11 MOT Annual 2014 Fragments-Incomplete Beginnings																														
	企画展示室 1F、ホワイエ 「驚くべきリアル」展 スペイン、ラテンアメリカの現代アート—MUSACコレクション— 2.15-5.11 The Marvelous Real -Contemporary Spanish and Latin American Art from MUSAC Collection-																														
東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum	企画展示室 日本美術院再興100年 特別展「世紀の日本画」(後期) 3.1-4.1 The Centennial Exhibition of the Japan Art Institute's Revival: The Masterpieces of Nihonga																														
	ギャラリーC 都美セレクション 新鋭美術家 2014 2.19-3.7 New-wave Artists 2014—From the Public Entry Exhibition																														
	ギャラリーA 第2回 都美セレクション グループ展 覧の会～現代作家によるそれぞれの古典～ 3.2-8 Group Show of Contemporary Artists 2013: KAKUNOKAI ~ Classical Images by Japanese young artists ~																														
トーキョーワンダーサイト Tokyo Wonder Site	本郷 AAA: アジア・アナキー・アライアンス 3.8-4.20 AAA Asia Anarchy Alliance																														
	渋谷 ワンダーシード 2014 2.1-3.2 WONDER SEEDS 2014																														
	AAA: アジア・アナキー・アライアンス 3.8-4.20 AAA Asia Anarchy Alliance																														
	青山:クリエイター・インレジデンス Aoyama: Creator-in-Residence																														
	オープン・スタジオ 3.22 OPEN STUDIO																														

■ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、31日(月)は臨時開室 ※江戸東京たてももの園は17日(月)、24日(月)、31日(月)は開館
Closed: Mon (or Tue when Mon falls on a national holiday) Tokyo Metropolitan Art Museum is closed on 1st and 3rd Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day), open on 31 Mon. Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum is open on 17 Mon, 24 Mon, 31 Mon.

<h1>1</h1>	<h2>東京文化会館</h2> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：1・2・20・21日 Closed: 1 Wed, 2 Thu, 20 Mon, 21 Tue</p> <p>★主な主催公演</p>	<h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：1・3・20・27日 Closed: 1 Wed・3 Fri, 20 Mon, 27 Mon</p> <p>★主な主催公演</p>
	<p>3日 大ホール</p> <p>〈響の森〉vol.34「ニューイヤークンサート2014」 開演:15:00(14:20開場) 出演:沼尻竜典(指揮)、小菅優(ピアノ)、東京都交響楽団 曲目:チャイコフスキー／歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ボロネーズ」、ピアノ協奏曲第1番、交響曲第5番 料金:S席6,000円、A席4,000円、B席2,000円(B席は売切)</p>	<p>13日 シアターイースト</p> <p>勅使川原三郎ディレクション U18ダンスワークショップ ブデモンストレーション公演「今、何してるの?」 開演:18:00(17:30開場) 出演:U18ダンスワークショップ・プロジェクト参加者 料金:1,000円(整理番号付自由席)</p>
	<p>19日 大ホール</p> <p>第11回東京音楽コンクール優勝者コンサート 開演:14:00(13:20開場) 出演:コハーン・イシュトヴァーン(クラリネット)、田原綾子(ヴァイオリン)、黒岩航紀(ピアノ)、梅田俊明(指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団、朝岡聡(司会) 曲目:シュボア／クラリネット協奏曲第2番、バルトーク／ヴァイオリン協奏曲 遺作(シェルイ補筆版)、チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番 ほか 料金:全席指定2,000円</p>	<p>15日～17日 シアターイースト</p> <p>朗読「東京」 演出:千葉雅子、寺十吾、江本純子 料金:3,000円 ほか</p>
	<p>22日 小ホール</p> <p>モーニングコンサート Vol.77 開演:11:00(10:30開場) 出演:富岡明子(メソソプラノ)、東由輝子(ピアノ) 曲目:モーツァルト／「フィガロの結婚」より「恋とはどんなものかしら」 ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>16日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ランチタイム・バイブオルガンコンサート Vol.103 開演:12:15(11:15開場) 出演:福本茉莉(オルガン) 料金:全席自由500円</p>
	<p>31日 小ホール</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013 ブラチナ・シリーズ 第5回 河野克典&小林沙羅 ミュラーと松本隆 2つの「冬の旅」◎ 開演:18:30(18:00開場) 出演:日本語版／小林沙羅(ソプラノ)、小原孝(ピアノ) ドイツ語版／河野克典(バリトン)、三ツ石潤司(ピアノ) 曲目:シューベルト／「冬の旅」(松本隆訳 日本語版／原語 ドイツ語版) 料金:S席4,800円、A席3,800円、B席2,000円(B席は売切)</p>	<p>18日 シアターイースト</p> <p>芸劇+トーク 異世代作家リーディング「自作自演」第8回 開演:14:00(13:30開場) 出演:高橋源一郎×藤田貴大(トーク聞き手:徳永京子) 料金:3,000円 ほか</p>
	<p>3 Main Hall</p> <p>Tokyo Bunka Kaikan New Year Concert Start:15:00 Admission:S seats: ¥6,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,000 (B seats: Sold out)</p>	<p>13 Theatre East</p> <p>-Saburo Teshigawara Direction U18 Dance Workshop Project- "What are you doing?" Start:18:00 Admission:¥1,000</p>
	<p>19 Main Hall</p> <p>The 11th Tokyo Music Competition Winners Concert Start:14:00 Admission:¥2,000</p>	<p>15-17 Theatre East</p> <p>"Read Tokyo"—reading works portraying Tokyo Admission:¥3,000 etc.</p>
<p>22 Recital Hall</p> <p>Morning Concert Vol.77 Start:11:00 Admission:¥500</p>	<p>16 Concert Hall</p> <p>Lunchtime Organ Concert Vol.103 Start:12:15 Admission:¥500</p>	
<p>31 Recital Hall</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013: Platinum Series: 5. Katsunori Kono & Sara Kobayashi: Two "Winterreise" ◎ Start:18:30 Admission:S seats: ¥4,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000 (B seats: Sold out)</p>	<p>18 Theatre East</p> <p>Geigeki + Talk 8th Two writers of different generations give readings of their works Start:14:00 Performer:Genichiro Takahashi×Takahiro Fujita Admission:¥3,000 etc.</p>	

<h1>3</h1>	<h2>東京文化会館</h2> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：3・4日 Closed: 3 Mon, 4 Tue</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>2日～16日 シアターウエスト</p> <p>「おそろべき親たち」◎ 作:ジャン・コクトー 翻訳:台本:木内宏昌 演出:熊林弘高 出演:佐藤オリエ、中嶋朋子、満島真之介、中嶋しゅう、麻実れい 料金:一般6,000円 ほか</p>
	<p>1日 小ホール</p> <p>舞台芸術創造事業「ギリシャ悲劇 王女メディアの物語」人形劇俳優たいらじょう×音楽アンサンブル 開演:15:00(14:30開場) 原作:エウリピデス 脚本・演出:美術・人形操演:たいらじょう 出演:セバステアーン・マルク(音楽監督/リコーダー)、アンサンブル・レ・ナシオン 料金:S席5,800円、A席3,800円、B席2,000円(B席は売切)</p>	<p>13日～23日 シアターイースト</p> <p>芸劇eyes サンプル「シフト」 作・演出:松井周 出演:古屋隆太、奥田洋平、野津あおい ほか 料金:一般前売3,500円 ほか</p>
	<p>8日 小ホール</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013 ブラチナ・シリーズ 第6回 武満 徹ソングブックコンサート ◎ 開演:19:00(18:30開場) 出演:ショロクラブ with ヴォーカリストス and 谷川俊太郎 歌:アン・サリー、沢知恵、おおたか静流、おおはた雄一、松平敬、松田美緒、tamamix 演奏:ショロクラブ 秋岡政(バンドリン)、笹子重治(ギター)、沢田穠治(コントラバス) 詩朗読:谷川俊太郎 曲目:武満 徹／翼、三月のうた、死んだ男の残したものは ほか 料金:S席4,800円、A席3,800円、B席2,000円(B席は売切)</p>	<p>15日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場リニューアル記念 インバル=都響前マラー・ツィクルスIX 開演:14:00(13:00ロビー開場) 出演: E.インバル(指揮)、東京都交響楽団 曲目:マラー／交響曲第9番 料金:S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円 ほか</p>
	<p>11日 小ホール</p> <p>モーニングコンサート Vol.79 開演:11:00(10:30開場) 出演:板本亜裕美(クラリネット)、松山玲奈(ピアノ) 曲目:ガッシュウィン／ラプソディ・イン・ブルー、菅野よう子／花は咲く ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>20日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ランチタイム・バイブオルガンコンサート Vol.104 開演:12:15(11:15開場) 出演:浅澤久美(オルガン) 料金:全席自由500円</p>
	<p>25日 大ホールロビー(ホワイエ)</p> <p>ティータイムコンサート 開演:13:00(12:30開場) 出演:岡本正之、長哲也、向後崇雄、山田知史(ファゴット) 料金:入場無料</p>	<p>21日 コンサートホール・エントランス(5階)</p> <p>クラシカル・プレイヤーズ東京 室内楽演奏会シリーズvol.2 ハルモニウムジーク 開演:18:00(17:30開場) 料金:全席自由2,000円(定員150名)</p>
	<p>1 Recital Hall</p> <p>Story of Medea - Puppet play actor Jo Taira & Early music ensemble Start:15:00 Admission:S seats: ¥5,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000(B seats: Sold out)</p>	<p>25日 コンサートホール</p> <p>0才から聴こう!! 春休みふれあいコンサート 開演:13:30(12:30ロビー開場)／15:30(15:00ロビー開場) 出演:北原幸男(指揮)、読売日本交響楽団 ほか 料金:S席3,500円、A席2,500円</p>
	<p>8 Recital Hall</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013: Platinum Series: 6.Toru Takemitsu Songbook Concert ◎ Start:19:00 Admission:S seats: ¥4,800, A seats: ¥3,800, B seats: ¥2,000(B seats: Sold out)</p>	<p>28日 コンサートホール</p> <p>第3回音楽大学フェスティバル・オーケストラ演奏会 開演:19:00(18:00ロビー開場) 出演:ラドミル・エリシュカ(指揮)、音楽大学フェスティバル・オーケストラ 料金:S席2,000円、A席1,500円</p>
	<p>11 Recital Hall</p> <p>Morning Concert Vol.79 Admission:¥500</p>	<p>1-9 Theatre East</p> <p>Geigeki eyes <i>Nippon no kasen</i> "Destructive command about a big thing." ◎ Text and Direction: Mitsunori Fukuhara Admission:¥3,300 etc.</p>
	<p>25 Main Hall Lobby (Foyer)</p> <p>Tea Time Concert Start:13:00 Admission:Free</p>	<p>2-16 Theatre West</p> <p>Les Parents terribles Text: Jean Cocteau Admission:Adult: ¥6,000 etc.</p>
	<h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：17日 Closed: 17 Mon</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>13-23 Theatre East</p> <p>Geigeki eyes Sample "Shift" Text and Direction: Syu Matsui Admission:¥3,500 advance etc.</p>
<p>1日～9日 シアターイースト</p> <p>芸劇eyes ニッポンの河川「大きなものを破壊命令」 脚本・演出:福原充則 出演:峯村りえ、佐藤真弓、中村舞、光瀬絵絵 料金:全席自由3,300円 ほか</p>	<p>15 Concert Hall</p> <p>ELIAHU INBAL MAHLER SYMPHONIE Start: 14:00 Admission:S seats: ¥6,000, A seats: ¥5,000, B seats: ¥4,000 etc.</p>	
	<p>20 Concert Hall</p> <p>Lunchtime Organ Concert Vol.104 Start: 12:15 Admission:¥500</p>	
	<p>21 Concert Hall Entrance</p> <p>Classical Players Tokyo chamber music Concert vol.2 Start:18:00 Admission:¥2,000</p>	
	<p>25 Concert Hall</p> <p>Spring Concert: Enjoy listening at the age of not yet one-year old Start:13:30/15:30 Admission:S seats: ¥3,500, A seats: ¥2,500</p>	
	<p>28 Concert Hall</p> <p>The 3rd College of Music Festival Orchestra Concert Start:19:00 Admission:S seats: ¥2,000, A seats: ¥1,500</p>	

<h1>2</h1>	<h2>東京文化会館</h2> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：10・11日 Closed: 10 Mon, 11 Tue</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>7日～9日 シアターイースト</p> <p>朗読「東京」 演出:瀬田なつき 料金:3,000円 ほか</p>
	<p>8日～9日 東京文化会館 ほか</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム(国際連携企画～カーザ・ダムジカ～) プログラム3 ワークショップ ※詳細はウェブサイトへ</p>	<p>13日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ナイトタイム・バイブオルガンコンサート Vol.3 開演:19:30(18:30ロビー開場) 出演:平井靖子(オルガン)、青木洋也(カウンター・テナー) ほか 料金:全席指定1,000円</p>
	<p>13日 小ホール</p> <p>モーニングコンサート Vol.78 開演:11:00(10:30開場) 出演:小川響子(ヴァイオリン)、山中博史(ピアノ) 曲目:ショーン／詩曲、フランク／ヴァイオリン・ソナタ ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>13日～23日 シアターイースト</p> <p>野田秀樹作一芝居×2バージョン「障子の国のティンカーベル」◎ 作:野田秀樹 演出:マルチェロ・マーニ 出演:穂谷友子(13日～17日)、奥村佳恵(20日～23日) 料金:前売3,500円 ほか</p>
	<p>25日 小ホール</p> <p>創遊:楽落らいぶ Vol.27—音楽家と落語家のコラボレーション— 開演:11:00(10:30開場) 出演:春風亭小柳枝(落語) ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>18日 コンサートホール・エントランス(5階)</p> <p>東京芸術劇場ティータム・コンサート Vol.4 ～桐朋学園大学古楽器専攻生による古楽オーケストラ～ 料金:入場無料(定員150名程度)</p>
	<p>8-9 Tokyo Bunka Kaikan, etc.</p> <p>Music Weeks in TOKYO 2013: Music Education Program: Casa da Música Program3: Workshop ◎ Admission:¥500 *Please see our Website for further details.</p>	<p>20日 コンサートホール</p> <p>シアターオペラ vol.7 J.シュトラウスII 喜歌劇「こもり」 開演:18:30(17:30ロビー開場) 出演:ハンス・リヒター(指揮)、ペーター・ボーディング(アイゼンシュタイン)、メラニー・ホリディ(2幕のみ) ほか 料金:S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円 ほか</p>
	<p>13 Recital Hall</p> <p>Morning Concert Vol.78 Start:11:00 Performer:Kyoko Ogawa(Violin), Atsushi Yamanaka(Piano) Admission:¥500</p>	<p>28日～3月16日 アトリイースト・ウェスト</p> <p>Moving Distance 料金:無料</p>
<p>25 Recital Hall</p> <p>The collaboration of Musician and Japanese traditional comic storyteller Vol.27 Start:11:00 Performer:Koryushi Shunputei (Rakugo) etc. Admission:¥500</p>	<p>1 Concert Hall</p> <p>Classical Players Tokyo Concert Start: 14:00 Admission:S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, B seats: ¥2,000</p>	
<h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：24・25日 Closed:24 Mon, 25 Tue</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>4 Theatre East</p> <p>Geigeki + Talk 9th Two writers of different generations give readings of their works Performer:Kazushi Hosaka×Toshiki Okada Start:19:00 Admission:¥3,000 etc.</p>	
<p>1日 コンサートホール</p> <p>クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 開演:14:00 出演:有田正広(指揮・チェンバロ)、宇治川朝政(リコーダー)、堂坂清高(ファゴット)、ジャン＝フィリップ・メルカールト(オルガン)、クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用:管弦楽) 料金:S席:4,000円、A席:3,000円、B席2,000円</p>	<p>6-11 Concert Hall, Playhouse</p> <p>Nandemo classic 2014 Admission:¥550～¥12,000</p>	
<p>4日 シアターイースト</p> <p>芸劇+トーク 異世代作家リーディング「自作自演」第9回 開演:19:00(18:30開場) 出演:保坂和志×岡田利規(トーク聞き手:鴻英良) 料金:3,000円 ほか</p>	<p>7-9 Theatre East</p> <p>"Read Tokyo"—reading works portraying Tokyo Admission:¥3,000 etc.</p>	
<p>6日～11日 コンサートホール、プレイハウス</p> <p>テレビ朝日開局55周年記念 なんでも! クラシック2014 料金:550円～12,000円 ※全23公演開催</p>	<p>13 Concert Hall</p> <p>Nighttime Organ Concert Vol.3 Start:19:30 Admission:¥1,000</p>	
	<p>13-23 Theatre East</p> <p>Tinkerbell in Shoji Land Text:Hideki Noda Direction:Marcello Magni Admission:¥3,500 advance etc.</p>	
	<p>18 Concert Hall Entrance</p> <p>Teatime Concert Vol.4 Start:14:00 Admission:Free</p>	
	<p>20 Concert Hall</p> <p>Theatre Opera vol.7 J.Strauss II, "Die Fledermaus" Start:18:30 Admission:S seats:¥10,000, A seats:¥8,000 etc.</p>	
	<p>28-Mar 16 Atelier East-West</p> <p>Moving Distance Admission:Free</p>	